

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



## ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1.個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2.取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3.自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4.ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5.事業や職業における特典を、ほかのロータリアンの求めない。

2014-2015年度 RI会長  
ゲイリー C.K. ホアン 氏

次回例会予定 8月27日 外部卓話  
9月 3日

VOL. 52 No. 7 (通算No. 2410)

2014年8月20日(水) 例会プログラム

点 鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
S A A 報告  
諸 報 告  
幹 事 報 告  
会 長 挨拶  
オーストラリア派遣学生帰国報告 他



写真提供: 石塚克己会員

2014-2015年度 会長 武藤康之 幹事 山野井周一

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 8月は会員増強・拡大月間です

例会報告 VOL. 52 No. 6 (No. 2409) 8月6日(水)晴れ(司会 古矢 満委員長)

### 本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎オーストラリア派遣学生出発前挨拶

◎研究会報告

### ピジター

オーストラリア派遣学生 S・Sさん 保護者

お二人は大学での試験のため出席できませんでした。

### 誕生祝



《会員》北村陽太郎会員 松坂興一会員

飯塚三夫会員

《ご夫人》田上会員 福田会員

### 2013-2014年度 100%出席表彰

大塚令昌会員・石塚克己会員・亀崎徳彦会員・横山 修会員・鈴木勝久会員・古矢 満海員

### 諸報告

2013-2014年度 決算報告 染谷秀雄前年度幹事

別紙の通り

2013-2014年度 会計監査報告 白井 豊会員

2013-2014年度、水海道ロータリークラブの収支決算について、関係諸帳簿と証拠書類について監査した結果、すべて符合しており適正でありましたことを報告致します。

### 幹事報告 山野井周一幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

### 会長挨拶 武藤康之会長



皆さんこんにちは、そして本日のお客様、夏季オーストラリア交換留学生の皆さん、当クラブの例会にお出で頂きありがとうございます。会員一同、歓迎申し上げます。のちほど、こちらの場所でスピーチをお願いしますのでどうぞよろしく。あまり緊張しなくて大丈夫ですよ・・・といっても緊張しますよね？でも大丈夫、こうして毎週のように話をしている私もいつも緊張しているのですから。

そこで少しでも緊張をほぐす方法を2~3お話します。話の上手な先輩から聞いた方法です。最初から人前で上手になど話せないのは当たり前なので、ゆっくり・ゆっくり話す事です。そして何と言っても緊張の最大の原因は、たくさんのあまりよく知らない人たちの前で話さなければならないという事だと思えます。左右・正面と分けて会場を見回して、人間とは違う物に置き換えて

## 8月は会員増強・拡大月間です

みて下さい。これだけでもだいぶ緊張が違ってくると思います。

さて今日はせっかくの機会ですから、オーストラリアについて少し調べてみたのでお聞き下さい。

まず国土の面積ですが、世界で6番目です。1位はロシア、まだまだ領土が欲しいようです。プーチンさんは欲張りですね。2位はカナダ、3位は中国、4位はアメリカ、5位はブラジルです。ちなみに日本は62位です。次にオーストラリアの人口は2,200万人で世界の52位です。よって人口密度は3人/km<sup>2</sup>、日本は337人/km<sup>2</sup>、日本の100分の1以下です。広い国土の大半は作物のとれない砂漠で国民の大部分は沿岸部に暮らしているという事ですね。17世紀初めにオランダ人によって発見された大陸ですが、その時は大陸北部(赤道側)に上陸したため、大変暑く、とても植民地には適さないとオランダは判断したそうです。

その後、イギリス人のクック船長が東海岸に上陸し大陸への第一歩を刻み、イギリスによる植民地へと移っていきました。最もその最初は流刑地だったそうです。江戸時代の日本の八丈島と同じですね。

### オーストラリア出発前挨拶

\*都合上お名前はイニシャルにしております。

#### S・Sさん



今回、この夏季交換学生プログラムに参加させていただくことになり、本当にありがとうございます。30年近くもの歴史ある行事に参加できることをとてもうれしく思っています。このプログラムの目的は、他国の困難と達成について現地で学ぶこと、国際概念・理解の成長とともに個人として成長すること、世界についての視野を広め、また自分自身の理解も深めて帰国することとあるので、帰国したときにどんなことを見て、体験したか、それらを通して何を知り、感じてきたかなど一段と成長した私を見せられたらいいなと思っています。

私は今大学で建築について学んでいるので、異文化の建物、人々のくらしに直接触れられるこの機会をとても楽しみにしています。環境や文化が違えば建物の形状・用途などがかわるので、そういう細かいところにさりげなく注目して街中を見てみたいと考えています。オーストラリアには行った事がなく、サンゴ礁が多く海がきれいだとか、オリンピックの会場だったり、カンガルーとコアラ、ぐらいの認識しかなく、建物についての知識があまりないということに気づきました。海外の建物は日本とは見た目も中の空間も大きく異なっているとよく聞きます。今回、一般家庭の中に混ざって生活できるという貴重な体験をすることができるので、日本と異なる環境・文化で人々のくらしはどのように変わるのかを体験して、これからの建築に対する見方や、自身で設計するにあたって活かしていきたいと思っています。

他国に行くということは、言葉の壁に必ずあたってしまうと思います。私は英語があまり得意ではないので、ホストファミリーとうまくコミュニケーションがとれるかなど不安なことがあります。大学から帰る途中で、外国人の観光客に道を尋ねられたことがあったのですが、相手が何を言っているかなかなか聞き取れずに苦労したことがありました。最終的に道の説明ができないからその場所まで一緒に行くということになりました。なので、この夏季交換学生プログラムでは少しでも多く自分から話しかけることを目標にしようと思います。ステイ先に歳が近い娘さんがいると聞いたので、オーストラリアでの若者事情を聞いたり、日本ではこうなんだよといろんな話ができるといいなと思っています。

コミュニケーションをたくさんとって、相手に伝えるということをして、他国の人たちと繋がりをつくりたいと思います。

#### S・Nさん(S・Sさん代読)

私は今回このような素晴らしい機会を頂けたことをとても嬉しくおもっています。だからこの機会を活かすためにいくつかの目標をたてました。まずオーストラリア、ツウンバについて知ることです。私は幼いころから家族旅行で日本国内の様々なところへ連れて行ってもらいました。行く先々にはそれぞれ違った方言や文化、気候などがあってとても面白かったことを覚えています。しかし海外にはあまり行った事はありません。人生で初めて海外に行ったのは高校の修学旅行でグアムに行ったときです。初めて入国審査を受けた時のドキドキは今も忘れられない思い出のひとつです。3泊4日という短い期間でしたが現地スーパーやショッピングモー



## 8月は会員増強・拡大月間です

ルで買い物をしたり、高校の授業に参加したりとグアムで暮らす人たちの生活を少し知ることができたと感じました。そして今回、私にとって人生で2回目となる海外での滞在はホームステイという現地の生活スタイルを直に知ることができる形なのでより多くのことを知ることができると思います。特に私が知りたいのは向こうの若い人たちの間で流行っているものです。日本の若者の間で流行っているものがあるようにオーストラリアで暮らす若者の間にも流行りのものがあると思います。しかし私たちが日ごろニュースなどのメディアで目にする海外の流行はアメリカやアジア諸国のものばかりで、オーストラリアの流行を知ることができる機会はなかなかありません。だから今回は現地での生活を通して何が流行っているのかを知りたいと思います。

2つ目の目標はツウンバでの生活を通して日本を再発見することです。大学生活の中で外国人の先生の授業を受けることがよくあるのですが、ほとんどの先生はよく自分の出身の国についての話をしてくれます。食文化や気候、そして日本との違い。その話を聞いていく中で私が思ったのは「自分はこんな風に日本について話す事ができるかな？」ということです。文化や気候は日本の中で暮らしているだけでもわかることだと思います。しかし生活の中にしみ込んでいる日本独自の風習は馴染みが深すぎて日本の中にいるとわからなくなってしまう気がします。だから今回の日本を離れ、ツウンバで生活する中で「今まで当たり前だと思っていたことが当たり前じゃなかった！」というようなことを見つけられたらいいなと思っています。

そして最後の目標はホストファミリーやツウンバで出会う人たちと沢山喋ることです。私は英文学科に在籍しているので、授業のときどうしても英語を話すことが必要になってきます。また時には国際交流のイベントに参加したりもします。その様なときに一番悔しいことは自分の思っていることが言葉にできないことです。特に国際交流のイベントでは会話のスピードが速く、考える間もなく話題が移って行ってしまいます。聞き取ることだけで終わってしまった、そんなことも沢山ありました。その様な状況に直面するたびに自分が伝えたいこと、考えていることを相手に伝えることは言葉が英語になるだけでこんなにも難しいものになってしまうのだと思います。だからホームステイ先では沢山喋って、少しでも英語を喋るということに慣れたいと思っています。そして沢山の会話を通じてホストファミリー達との仲を深められればいいなと思っています。

### M・Fさん(五木田裕一会員代読)



こんにちは。今年度水海道ロータリークラブ夏季交換留学生プログラムに参加させて頂くことになりました。M・Fと申します。まずはじめに、今回このような貴重な体験のできる機会を与えて頂いたこと、この場を借りて御礼申し上げます。できることならきちんと自分の口`思いを伝えるべきなのですが、大学のテストがあり、代読という形をとらせて頂きました。申し訳ありません。

おとし妹がこちらのプログラムに参加させて頂き、「本当に楽しかった」「オーストラリアとてもいい所だよ」と言っていたので、機会があれば私も行きたい！とずっと父に話していました。そして今回機会を与えて頂いたこと大変嬉しく思います。

私は、ポジティブな性格ということもあり、不安よりも楽しみという気持ちの方が何倍も大きいです。オーストラリアでは「どんな人々に出会えるかな」「どんな体験がきるかな」「どんなおいしいものが食べられるかな」とワクワクしています。また、今回一緒に参加する心強い仲間がいるので、3人で力を合わせてオーストラリアに日本の良さを伝え、そしてオーストラリアでしかできない経験をして来たいです。一応3人の中では一番年上なので頼りになるお姉さんの存在になれたらいいなと思っています。ですが、私自身英語は苦手です。今になってもっと英語の勉強をしっかりとっておけば良かったと少し後悔しています。しかし、せつかくの機会ですのでホストファミリーと積極的に会話をし、少しでも英語でのコミュニケーションに慣れたいです。

支援して下さったロータリークラブの方々の期待に応えられるよう頑張りたいと思います。オーストラリアには、ミートパイやフィッシュ・アンドチップスなどおいしいものがたくさんあるので、これ以上太らない様気をつけます。帰国後の報告会でより一層まるくなった姿でお会いすることになりましたら、ぜひ太りましたねと優しく声をかけて下さい。

私らしく明るく元気いっぱいオーストラリアの生活を満喫し、充実した10日間にしたいと思います。

8月は会員増強・拡大月間です



## 8月は会員増強・拡大月間です

### 研究会報告

ロータリー財団

島田 勝委員長



7月13日(日)筑西市の「ダイヤモンドホール」にてロータリー財団研究会が開催され出席いたしました。

10:00 登録開始。10:30 点鐘がなく司会者よりゲスト及び地区役員、委員の紹介で始まり、

先ず藤居ガバナーの挨拶があり、その中で財団の目標について幾つかを挙げ、

- (1) ポリオ撲滅を2018年を区切りとしたい。
- (2) 継続的な寄付を通じて支援をしていく。

(3) 2年目を迎える新しい地区補助金を全クラブが申請をするよう

(4) グローバルグランドに取り組んで下さい

とのことで、財団の位置づけは大変重要であるとの話がありました。

続いて山崎清司財団総括委員長の挨拶の中で、財団の目的は皆様から頂いた錠剤を如何に使うかが大切であるとのことで、本年度の寄付目標額を1人年次寄付130ドル、ポリオ20ドルの支援を。

次に地区補助金委員長より、資料をもとに補助金の申請状況の報告があり、申請率98%の57クラブの申請。尚、申請の際は、昨年と全く同じ継続的プロジェクトはどうか、学校関係等の内容は除外扱いです。

11時より講演があり、「未来の夢計画」での新しいプログラム。職業研修専門チーム「VTT」の実施について。タイにおける家畜の人口受精の技術を伝授する職業研修会を実施した。東京大学大学院教授の眞鍋 昇氏から映像を使つての話が1時間あり、現地の農民専門の学生から大変喜ばれ有意義な事業であったとの事でした。

#### ① 「寄付金について」

寄付増進のお願いということで、ビデオを使い貧困地域や恵まれない子供達の様子を紹介し、支援を。

財団寄付目標として、藤居ガバナー年度は、年次寄付1人130ドル、ポリオ20ドル。

昨年同様本年度も寄付0クラブがゼロに。現在のレート 102円

#### ② 「ポールハリスソサエティーについて」(PHS)

毎年1000米ドルを寄付し、PHSの会員に。目的はより良い地域社会づくりを応援する。

現在当地区24名。目標 60名・1クラブ2年に1名の推薦を。

ガバナー補佐は全員入会を。地区役員も是非入会。

#### ③ 「ポリオについて」

ポリオの歴史をスライドにて紹介

1985年……741件、2013年……403件、2014年6月25日現在 常在国3カ国に減る

2018年までに地球上のポリオ撲滅宣言を目標。そのために55億ドル必要で現在15億ドル不足。

#### ④ 「地区補助金について」

地区補助金は計画年度と実施年度が異なるため十分な引き継ぎを

#### ⑤ ローター財団奨学金について

ロータリーの奨学金制度は大きく2つに分けられ

1. グローバル補助金奨学金制度
2. ロータリー平和フェロシップ奨学金

そして質疑応答。倉沢修市ガバナーエレクトの所感。

15:00 閉会(ガバナーの点鐘にて)



## 8月は会員増強・拡大月間です

青少年奉仕委員会 染谷正美委員長



7月21日(月)海の日に日立市の多賀市民プラザで開催されました青少年奉仕研究会に参加して参りました。

藤居彰一ガバナーの挨拶から研究会が始まり、青少年12～30歳と若い世代の人たちを対象にインターアクト、ローターアクト、青少年交換プログラムそして青少年指導者育成プログラム(RYLA)の4委員会で構成されていますと鈴木 稔青少年奉仕総括委員長が挨拶、そして趣旨説明がありました。

その後、各委員長から今年度の事業・活動計画発表となりインターアクト・ローターアクト委員会では、会員の減少が多く「会員増強」がここ数年の課題であると強調しておりました。青少年交換プログラムでは今年度アメリカとフランスに2名の交換学生を派遣いたします。ライラ並びに青少年委員会は本年35回記念として当初の頃に行われていた2泊3日に戻し、充実した研修にたく10月11・12・13日に「つくばふれあいの里」で行いますので、是非参加ください。

出席報告 鈴木勝久副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク	出席率
54名	46名	8名	0名	0名	85.19%

ニコニコボックス 五木田益城委員長

入金計 ¥69,000 累計 ¥353,000

誕生祝御礼《会員》北村(陽)・松坂・飯塚 各会員 《ご夫人》田上・福田 各会員

2013-2014年度100%出席表彰御礼 古矢・石塚(克)・亀崎・大塚・横山・鈴木(勝) 各会員

S・Sさん、ようこそいらっしゃいました。楽しいホームステイを願っています。 武藤会員

交換留学生の皆様ようこそお出で下さいました。楽しんで来て下さい。 山野井会員

本日2013-2014年度の決算報告をさせて頂きます。また今日は8月6日です。『HIEOSHIMA に 思い募らす 今日の空』 熊谷会員

Fさん、Sさん、Nさん、TOOWOOMBA を楽しんで来て下さい。無事の帰国を待ってます。 北村(英)会員

オーストラリア 娘がお世話になります。よろしくお願ひします。二日酔いです。 古矢会員

ツウンバ交換留学生の皆様、気をつけて行ってらっしゃい。 田上会員

オーストラリア交換学生の皆様、楽しんで来て下さい。 五木田(益)会員

ツウンバへ行かれる皆さん、気をつけて楽しんでください。 石井会員

交換留学生の皆様ようこそ！！ 高須会員

ツウンバ派遣留学生のみなさん、元気で行って来て下さい。 五木田(裕)会員

オーストラリア元気で行って来て下さい。 青木(英)会員

オーストラリア派遣学生の皆様ようこそ！楽しんで来て下さい。 染谷(正)会員

早退します。 石塚(克)・小島 各会員

先週遅刻しました。 大塚会員

会報委員会 鈴木茂徳委員長 二本松恭行副委員長 本橋美章委員

## 8月は会員増強・拡大月間です

### 会員増強で奉仕の仲間を増やす



親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーで8月は、会員増強・拡大月間です。毎年、新しい年度が始まって間もない時期に、私たち自身に会員増強の大切さを思い出させるのには、十分な理由があります。私たちの会員を増やすのに、早すぎるということがないからです。また、やめることができない仕事でもあります。奉仕を続けるために、ロータリーは常に成長し続ける必要があるのです。

#### 配偶者をロータリーに

私たちはこれまで何年間にもわたって、ロータリー家族の重要性について話し合ってきました。今年度、私は、いわゆるロータリー家族だけではなく、会員増強の最優先事項として、自身の家族をロータリアンにしたいと思っています。私がロータリーに入会し 37 年を経て、妻のコーナも昨年ついにロータリアンになりました。私たちが台湾にできた新クラブの認証状伝達式に一緒に出席した時、「私もロータリアンになる時だわ」と、彼女が言ったのです。そうして彼女はそのクラブに入会しました。その後すぐに、ほかの人も大勢入会し、現在そのクラブは 102 人の会員がいる、台湾で 2 番目に大きいクラブになりました。

自分の配偶者をロータリーに勧誘することは、単に会員数を増やすということだけにとどまるものではありません。ロータリーは依然として女性会員より男性会員がはるかに多いという現実と向き合うことであり、そして、私たちが取り組まなければならないことでもあるのです。ロータリーにもっと多くの女性会員を連れてくることができれば、私たちのクラブは、女性の会員候補者にとって、より魅力あるものとなり、同時に、より実りの多いものになるでしょう。

#### クラブを楽しい場にする

今年度、私たちはロータリーで新しいことをしようと考えています。それは、新会員推薦者のための認証ピンです。これは、新会員をロータリーに入会させると、ロータリーの徽章と一緒に着ける特別な認証ピンがもらえるというものです。しかし、新会員が一人入会すれば、それで会員増強の仕事が終わるというものではないことを、私たちは知っています。新しく入会した人がロータリアンであることを楽しみ、退会を考えなくなった時、やっとその仕事が終わるのです。クラブを楽しい場にするには、会員増強において大切な点です。

#### ロータリーの奉仕を楽しみましょう

ロータリーに入会する理由は人それぞれです。しかし、ロータリーが楽しみの一つだから、ロータリーにとどまるのです。そこで私は、皆さんに自分のクラブや地区で楽しみを見つけてもらいたいと思っています。ロータリーは、友人とともに奉仕をすることで、私たちの奉仕がさらに成果が挙がるという考えに基づいています。ロータリーの奉仕を楽しみましょう。そして、それをほかの人とも分かち合って、共に「ロータリーに輝きを」

GARY C. K. HUANG

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2014 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press

ロータリーの友

一般社団法人ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階  
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956 email hensyu@rotary-no-tomo.jp